

令和3年度第2回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会（書面開催）会議録

- 1 日 時 令和4年2月24日（木）
2 開催方法 書面開催
3 意見票提出者
〔委員〕 川島委員長，坂井副委員長，若色委員，杉本委員，羽山委員，
稲澤委員，手塚委員，松本委員，石塚委員，飯田委員
〔事務局〕 視聴覚ライブラリー森所長・鷺谷副所長・鴨志田主任・小池主任

4 意見

(1) 視聴覚ライブラリー利用状況について

- 感染症対策を講じながら市民ニーズに応えようとしている取り組みが感じられる。
- コロナの影響により，昨年度に引き続き利用者数が減少したのは仕方がない。
「with コロナ」の観点から，感染対策の徹底の周知や広報活動に引き続き努めて欲しい。
- 今後は，実際に部屋を使うのみならず，オンライン上の仮想空間で提供できるサービスなどを検討することもこれからは必要かもしれない。
- SDGs の内容を扱った DVD 教材を整備したとのことで，市の取組や学校教育の動向に即した対応に感謝する。今後もニーズに合わせた整備をお願いしたい。
- コロナの影響による休館／空調工事に伴う休館を考慮すると，種々の対策を講じた結果，令和2年度と比べ利用状況の改善傾向があると思われる。職員の方々の努力の賜物と思う。
- 幼稚園団体での施設利用はないが，「教材」「機材」の貸出数はあった。
- 案内（広報）が大切だと思う。私自身利用した事がないので利用してみたい。
- 上映機器などは，新型コロナウイルスの影響で，集合して閲覧する機会が減っていると思われるが，引き続き機器や機材の整備を維持してほしい。

(2) 視聴覚ライブラリー事業実績について

- 「ほしぞら映画会」への参加人数が増えているのは素晴らしい。コロナの影響もあるが，遊びに行けない地域の子どものためにも，上映タイトルを吟味し，実施回数を増やすなど，今後の活動に期待したい。
- 講座・研修の実施については，コロナ対応が続く中，ご苦労も多かったと思う。
- 視聴覚教材に「あらすじ」を付す作業は，利用する側として，作品選定の参考になり，ありがたい。
- 映画会アンケートは，結果を集計いただき，今後の映画会の参考にしていただきたい。
- パソコン活用研修「Zoom の活用」は時宜を得たものと思う。教材も時代の変化に合わせたものも購入して欲しい。
- 利用者（希望者）がいるので，これまで以上に案内を行うとよい。

(3) 指定管理者制度導入の導入について

- これまでの体制から大きく変化することはないかと思うが，良い方向に視聴覚ライブラリーの活動が進むことを期待する。
- 指定管理者制度の導入により，市民へのサービスの低下にならないことを望む。
- 定型業務のアウトソーシングは世の中の流れであり，指定管理者への委託もやむを得ない。これを機会に，市民目線でのサービス向上に努めて欲しい。
- 指定管理者に責任を持って取り組んでもらえてよい。

- 市民や教育・福祉等の団体にとっても、企業の参加によって、便利になって充実するのであれば導入してもよいと考える。

(4) 指定管理者制度導入に伴う視聴覚ライブラリー事業について

- 視聴覚ライブラリーとしてこれまで行ってきた事業の見直しや新規事業に期待する。
- デジタル教材の充実や教材をWebで配信できるような取り組みを期待したい。
- 基本的なサービスや施設管理が充分に行われること、さらに、工夫した事業、活用を推進できる事業が進められることを願う。
- 視聴覚ライブラリー事業は、指定管理者に移行後も継続して頂けると聞いている。映画会の開催を協力するものとしては、一層の支援をしていきたい。
- 指定管理者は自主事業も可能と聞いている。新しい目線での事業を期待している。
- 指定管理者制度導入に伴い、市民サービス向上が図られることを期待する。
- 指定管理者の事業も細かく取り組んでもらえそうなので良い。
- 視聴覚ライブラリー事業については、今までの会議でも話題に上がっているように、インターネットなども活用が求められていると考えます。さらに充実していくように、宇都宮市も指定管理業者と一緒に、調整・検討していくことが重要と考える。
- 必要予算の獲得なども継続してほしい。

(5) その他の意見

- 学校としても、視聴覚ライブラリーの利用促進のため、教職員にも周知を図っていききたい。
- コロナ禍にあって視聴覚ライブラリーに足を運んだり集合したりしての利用は難しい面があったと思う。オンライン、リモートでの利用を推進することも大切だと思う。
- それら（※SDGs）のDVDの貸し出し状況は、今年度はどうだったか。（質問）
⇒ 事務局から回答済

※事務局補記